



地球のかおり

見上げる山、眼下に見下ろす山。それぞれ表情は違うが、私は正面から見る山が好きだ。カナディアン・ロッキーらしい作品を残すにはどうしたらいいか。時間をかけて撮影ポイントを探す。やがて、私の感性が「ここだ」と叫んだ。

ロッキー山脈

すっきりと直立する岩山、断崖絶壁が見える。鋭角、形状、麓の緑とのコントラスト…。このタイミングにほれた。今、こうして文章にしていると、その体感がよみがえってくる。

(夢絵作家 久葉迎吉)

<http://kuraku.jp>

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

構図に悩みだすと、きりがなく、いいものが残せない。自然はおかまい無し。

自然のスピードは早い。場所を選んでいると、チャンスロス。

こんなお遊びの時間が実に面白い。結果も大切だが、プロセスを楽しむひと時は至福の時間。

こうした、未知との出会いから、後日、文章、等々誕生するといいいのだが。



色をぬると面白いのだが、これは、個人のお遊び。

世界へのひとり旅は、人生の学校であるとともに、気づきと発見の機会。

日常もしかり。この心模様も、失敗も多いが、学びの道具。

厳しい現実との遭遇は、避けられないが、今に、創意工夫して、全力投球するしかない。

瞬きや、きっかけ。**始めなければ、始まらない。**できる時に、できることを。

